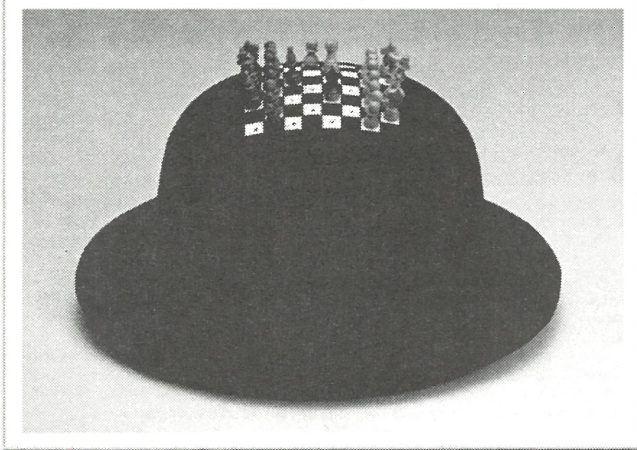


芸術の秋。みなさんは「芸術」と聞くと、どんなことを想像しますか？まるで本物のように表現された絵画や彫刻などを思いうかべる人もいるかもしれませんが、でも、「芸術」には、その他にもいろいろな表現の仕方があるようです。9月6日から始まる2つの展覧会では、うらわ美術館のコレクション作品を中心に、そんな芸術の幅広い表現について紹介します。

さいたまトリエンナーレ2016 連携プロジェクト
コレクション特別展
未来の発見の仕方：フルクサスの場合

コレクション 福田尚代
言葉の在り処、その存在



斉藤陽子『ハット・チェス』1990年

〈フルクサス〉とは、「流れる、変化する」という意味の、1960年代にアメリカ、ヨーロッパを中心に展開した芸術活動です。日本人を含む世界各国のたくさんの芸術家が参加し、美術だけでなく、音楽、詩、パフォーマンスなどそれぞれのスタイルで表現活動を行い、アートの未来を切りひらきました。今でも多くの人が影響を受けているという、その新しい表現のかたちとは一体どんなものだったのでしょうか。

Q. 2 下の作品のかわいらしい形は何でできているのでしょうか？

ヒント みなさんもよく使う色をぬる道具の一部です。



福田尚代『煙の骨』2007年～2014年

Q. 1 上の作品は、2つのものが合わさっていますが、それは何と何でしょう？

ヒント ずばり題名！

会期 平成28年9月6日(火)～25日(日)

無料

午前10時～午後5時 ただし土曜日・日曜日のみ～午後8時(入場は閉館30分前まで)
*休館：月曜日(ただし9月19日は開館)、9月20日
うらわ美術館 ギャラリーBC/D

☆クイズの答えは、うらがわにあります。